

# 大口町 犯罪

## 発生状況

昨年と  
比べると

減少

令和元年に  
町内で発生した  
犯罪件数は

164件

令和元年中の町内における犯罪認知件数は164件で、前年と比べ29件減少しました。

とりわけ多く被害が発生していた自動車や自転車などを狙った乗物盗が17件（前年比12件減）と大きく減少していますが、ナンバープレート等を狙った部品ねらいが17件（前年比11件）と大きく増加しています。未然に被害を防止するため、ナンバープレート盗難防止ネジ等の防犯グッズを活用しましょう。

また、愛知県の住宅を対象とした侵入盗については、その認知件数が平成18年以来13年ぶりに全国ワースト1位を返上しましたが、依然として多発傾向にあります。短時間の外出でも必ず鍵をし、防犯グッズを活用しましょう。

## 特殊詐欺の 被害防止対策

令和元年は、警察官や役所の職員を騙って「還付金がある」などという不審な電話や、見知らぬ男が「息子さんから部品を頼まれた。息子さんが家族からその代金をもらってくれといわれた」といって金銭を騙し取る被害が大口町だけでなく近隣市町でも発生しています。愛知県での特殊詐欺の認知件数は減少していますが、被害金額は増加しています。不審な訪問者や請求は無視し、家族に確認するようにしましょう。また、身の危険を感じたら、すぐに警察に連絡をしてください。

また、お金に関する不審な電話がかかってきた場合は、次の項目に気を付けてください。

▽言葉巧みな犯人と会話をしないですむように、在宅時でも留守番電話に設定しておきましょう（犯人は声の録音を嫌がり、電話をきります）。

▽「電話番号が変わった」などと連絡があったら、必ず変更前の番号にかけて確認をしましょう。

▽お金の要求には「すぐに振り込まない」「1人で振り込まない」「呼び出しに応じない」「知らない人へ手渡さない」「郵送等しない」を徹底しましょう。

▽落ち着いて話の要点をメモし、電話をきった後は家族や警察などに相談しましょう。

▽電話の近くに連絡表（相談する家族や警察署電話番号）を貼っておきましょう。

▽保険料や医療費等の還付金はATMで返還されることは絶対にありません。



## 大口町防犯対策補助金

大口町では住宅を対象とした侵入盗や自動車盗が多く発生しています。犯罪被害に遭わないためには、日頃から高い防犯意識を持ち、身近な対策を具体的に実践していく事が大切です。町では、防犯対策を施工する

方に対し、費用の一部を補助する防犯対策補助金の制度がありますので、ぜひご利用ください。交付申請期間は工事（購入）後、1年間です。

なお、平成22年度以降に交付を受けた世帯主は、再度の申請はできませんので、ご注意ください。

### 補助対象

▽玄関の主錠、補助錠  
▽サッシのガラス、施錠  
▽戸板・窓等の鍵  
▽センサーライト  
▽防犯用砂利（現地確認要）  
▽その他防犯対策に特に効果がある対策（テレビ付インターホン、面格子、ガラスフィルム等）

### 補助金の額

経費の3分の2の額（100円未満切捨）※限度額1万円  
申請に必要なもの

▽大口町防犯対策補助金交付申請書、請求書（町民安全課窓口にて受領、またはホームページから印刷ください）  
▽製品等の規格がわかる書類（パンフレット・説明書等）

▽購入品の詳細が分かる領収証（発行責任者の氏名が記入された原本）またはレシート  
▽施工後の写真  
▽所有者同意書（賃貸住宅のみ）



# 大口町 交通事故 発生状況

昨年と比べると **減少**

令和元年に  
町内で発生した  
交通事故件数は **1,234件**

令和元年中に町内で発生した交通事故件数は、人身・物損事故を合わせると1234件で、昨年から94件減少しました。

人身・物損事故件数ともに減少していますが、死亡事故および重傷事故は減少していません。交通事故は、被害者だけでなく被害者の家族、加害者の人生も狂わせてしまっています。信号や一時停止、制限速度を守り、安全運転を心掛けましょう。

また、愛知県内の令和元年の交通事故死者数は、156人と前年と比べると33人減少し、全国ワースト1位を返上しました。

令和元年 交通事故発生状況

	件数	人身事故 人数			物損事故	交通事故 件数合計
		死者	重傷者	軽傷者		
令和元年	151	1	4	146	1,083	1,234
平成30年	164	1	3	160	1,164	1,328
増減	-13	±0	+1	-14	-81	-94

## 自転車保険（賠償責任保険） に加入しましょう

自転車加害者となる事故が増加傾向にあります！

加害者になった場合は、損害賠償責任が生じ、高額な賠償を請求されることもあります。自動車保険や火災保険の特約等に自転車事故による損害賠償責任が補償に含まれていることがあります。現在加入している保険の補償範囲を確認しましょう。

また、自転車安全整備士が点検整備した普通自転車に貼付されるTSマークには、傷害保険と賠償責任保険が付いています。もしものときに備えて、自転車の点検・整備を受け

## 自転車安全利用五則

1 自転車は、車道が原則、歩道は例外

2 車道は左側を通行

3 歩道は歩行者優先で、  
車道寄りを徐行

4 安全ルールを守る

○ 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止

○ 夜間はライトを点灯

○ 交差点での信号遵守と  
一時停止・安全確認

5 子どもはヘルメットを着用

信号無視や一時不停止など、危険なルール違反をくり返すと自転車運転者講習の対象になります。自転車に乗る時は、自転車安全利用五則を守り、安全運転を心掛けましょう。

## 免許自主返納制度

※TSマークの有効期間は、点検・整備の日から1年間です。

加齢による視力低下などで運転が不安な方や、家族から運転が心配と言われたら、運転免許証の自主返納を考えてみましょう。愛知県内の警察署や運転免許試験場で自主返納を受け付けています。

また、返納された方は手数料がかかりますが運転経歴証明書の交付申請を行うことができ、愛知県警察に

登録された「高齢者交通安全サポーター」の店舗で運転経歴証明書等を提示すると割引等の特典を受けられる制度があります。町ホームページおよび町民安全課窓口にて、近隣の高齢者交通安全サポーターの店舗を抜粋したものを掲載・配布していますのでご利用ください。

また、令和2年6月から警察署での免許更新受付が午後のみに変更となります。午前は高齢運転者免許更新にかかる認知機能検査を警察署で実施するため、午前中に免許の更新はできなくなりますので、ご注意ください。